

科目名	国語表現		単位数	2単位	学年	3年	コース	特進理系	必修
教科書	国語表現(大修館書店)								
副教材・参考書	国語辞典・トータルサポート新国語便覧・国語表現 基礎練習ノート・大学入試国語頻出問題1200 四訂版・ちくま文学講読上級編・新版大学入学共通テスト実践演習論理・文学編								
授業の到達目標	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、論理的思考力や共感する力、想像力を伸ばし、伝え合う力を高めるとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたって読書に親しむ態度を育み、言葉を通して他者や社会に積極的に関わる態度を持つ。								
授業内容・進め方	言葉や文章の正しい使い方、原稿用紙の書き方などの基本的な修辞技法や表現技法を、教科書や副教材を用いて学び、適宜実践していく。志望理由書、小論文等の書き方、面接の際の言葉遣いなどについて演習を行う。基礎力を測る小テスト、共通テスト対策、入試問題演習も行う。								
観点別評価の方法	【知識・技能】 定期考査・小テスト等								
	【思考・判断・表現】 定期考査・発表の内容と過程・レポート・小論文等								
	【主体的に学びに向かう態度】 振り返り・相互評価・行動観察等								
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 =5:4:1を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月	/	【話す・聞く力】自己紹介・他己紹介・聞く力をつける・身振り手振り・スムーズな会話						
			【情報活用力】ニュース、話題について調べ、まとめる・発表する						
			【言語運用力】言葉の基礎・表現のコツをつかむ						
	5月	考査実施	【評論・随想】「ニワシダリの庭」(加藤幸子)						
			【話す・聞く力】自己分析・他己分析をして自分史を作る・人前で話す						
	6月	/	【情報活用力】ニュース、話題について調べ、まとめる・スピーチする						
			【書く力】書いて説明する・書いてアピールする・論理的に正しく書く						
【評論・随想】「知識の扉」(港千尋)									
7月	考査実施								
(2学期)	9月	/	【情報活用力】ニュース、話題について調べ、まとめる・ディスカッションする						
			【書く力】読む側を意識して小論文等を書く・分析する						
			入試問題演習・分析(大学入学共通テスト・一般選抜)						
	10月	考査実施							
	11月	/	【情報活用力】ニュース、話題について調べ、まとめる・議論する						
【書く力】小論文等の演習 入試問題演習・分析(大学入学共通テスト・一般選抜)									
12月	考査実施								
(3学期)	1月	/							
	2月	/							
	3月	考査不実施							

科目名	倫理	単位数	2単位	学年	3年	コース	特進理系	選択	
教科書	詳述倫理(実教出版)								
副教材・参考書	『テオリア最新倫理資料集 新版初訂』								
授業の到達目標	青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解を深めさせる。そして人格の形成に努める実践的意欲を高めるとともに、思考力を養い、他者と共に生きる主体としての自己の確立を促す。								
授業内容・進め方	思想や宗教に関する基本的事項の理解を、講義やグループ演習等を通じて深めていく。思想家の思想については、適宜図で示し、視覚的な理解を促す。								
観点別評価の方法	【知識・技能】定期考査・小テスト等による評価								
	【思考・判断・表現】定期考査・小テスト・パフォーマンス課題等による評価								
	【主体的に学びに向かう態度】パフォーマンス課題・振り返り課題による評価								
観点別評価の割合	知識・技能：思考・判断・表現：主体的に学びに向かう態度＝5:3:2を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月	/	第1章 自己形成と自己の生き方 / 第1節 青年期の課題と自己形成						
			第2節 人間とは何か / 第2章 人間としてのあり方生き方						
			第1節 ギリシア思想						
	5月	考査実施	第2節 キリスト教 / 第3節 イスラーム						
			第4節 仏教 / 第5節 中国思想 / 第6節 芸術と人生						
			第3章 社会・世界と人間としてのあり方生き方						
	6月	/	第1節 人間の尊厳						
			第2節 科学・技術と人間						
			第3節 民主社会と自由の実現 / 第4節 社会と個人						
	7月	考査実施	第5節 近代的人間の見直し						
			第6節 現代の暴力に抗して						
	(2学期)	9月	/	第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚					
第1節 古代日本人の思想									
第2節 日本の仏教思想									
10月		考査実施	第3節 近世日本の思想 / 第4節 西洋思想の受容と展開						
			第5章 自然や科学技術にかかわる諸課題と倫理						
11月		/	第1節 生命の倫理 / 第2節 環境の倫理						
			第3節 科学技術の倫理						
			第6章 社会と文化にかかわる諸課題と倫理						
12月		考査実施	第1節 福祉の課題						
			第2節 文化と宗教の課題						
第3節 平和の課題									
(3学期)		1月	/						
	2月	/							
3月	/								

科目名	数学Ⅲ	単位数	5単位	学年	3年	コース	特別進学	必修
教科書	数研出版 数学Ⅲ							
副教材・参考書	4プロセス 数学Ⅲ+C							
授業の到達目標	微分積分の処理を習得する。高校数学全体の有機的な繋がりを理解し、各問に対する最善の解法を導ける、揺るがない数学力を習得する。							
授業内容 ・ 進め 方	3. 微分法 4. 微分法の応用 5. 積分法とその応用 総合演習 上記の内容に関して、講義と演習を行う。演習時間を十分に確保し、様々な観点から問題にアプローチする。また、総合演習では受験に対応した問題を演習する。							
観点別評価の方法	【知識・技能】 定期テスト 基本的課題							
	【思考・判断・表現】 定期テスト							
	【主体的に学びに向かう態度】 定期テスト 発展的な課題 授業・テストの振り返り 小テスト							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 5 : 3 : 2 を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月	/	第3章 微分法		第1節 導関数			
			第2節 いろいろな関数の導関数					
	5月	/	第4章 微分法の応用		第1節 導関数の応用			
			第2節 いろいろな応用					
	6月	/	第5章 積分法とその応用		第1節 不定積分			
			第2節 定積分					
	7月	/	第3節 積分法の応用					
			/					
(2学期)	9月	/	総合演習					
			/					
	10月	/	総合演習					
			/					
	11月	/	総合演習					
			/					
	12月	/	総合演習					
			/					
(3学期)	1月	/	/					
			/					
	2月	/	/					
			/					
	3月	/	/					
			/					

科目名	数学Ⅲ	単位数	5単位	学年	3年	コース	特別進学	必修
教科書	数研出版 数学Ⅲ							
副教材・参考書	4プロセス 数学Ⅲ＋C							
授業の到達目標	微分積分の処理を習得する。高校数学全体の有機的な繋がりを理解し、各問に対する最善の解法を導ける、揺るがない数学力を習得する。							
授業内容 ・進め方	2・極限 3. 微分法 4. 微分法の応用 5. 積分法とその応用 総合演習 上記の内容に関して、講義と演習を行う。演習時間を十分に確保し、様々な観点から問題にアプローチする。また、総合演習では受験に対応した問題を演習する。							
観点別評価の方法	【知識・技能】 定期テスト 基本的課題							
	【思考・判断・表現】 定期テスト							
	【主体的に学びに向かう態度】 定期テスト 発展的な課題 授業・テストの振り返り 小テスト							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 5 : 3 : 2 を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月	/	第2章 極限 第2節 関数の極限 7. 関数の連続性					
			第3章 微分 第1節 導関数					
			第2節 いろいろな関数の導関数					
	5月	/	第4章 微分法の応用 第1節 導関数の応用					
			第2節 いろいろな応用					
	6月	/	第5章 積分法とその応用 第1節 不定積分					
			第2節 定積分					
7月	/	第3節 積分法の応用						
(2学期)	9月	/	総合演習					
	10月	/	総合演習					
11月	/	総合演習						
12月	/	総合演習						
(3学期)	1月	/						
	2月	/						
3月	/							

科目名	数学C	単位数	2単位	学年	3年	コース		特別進学		必修	
教科書	数研出版 数学C										
副教材・参考書	4プロセス 数学Ⅲ+C										
授業の到達目標	式と曲線を習得する。高校数学全体の有機的な繋がりを理解し、各問に対する最善の解法を導ける、揺るがない数学力を習得する。										
授業内容・進め方	4. 式と曲線 総合演習 上記の内容に関して、講義と演習を行う。演習時間を十分に確保し、様々な観点から問題にアプローチする。また、総合演習では受験に対応した問題を演習する。										
観点別評価の方法	【知識・技能】										
	【思考・判断・表現】										
	【主体的に学びに向かう態度】										
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = : : を原則とする										
授業スケジュール											
(1学期)	4月	/	第4章 式と曲線 第1節 2次曲線								
	5月		考査実施	第2節 媒介変数表示と極座標							
	6月	/	総合演習								
	7月		考査実施	総合演習							
(2学期)	9月	/	総合演習								
	10月		考査実施	総合演習							
	11月	/	総合演習								
	12月		考査実施	総合演習							
(3学期)	1月	/									
	2月		/								
	3月										

科目名	数学C	単位数	2単位	学年	3年	コース		特別進学		必修	
教科書	数研出版 数学C										
副教材・参考書	4プロセス 数学Ⅲ+C										
授業の到達目標	複素数平面・式と曲線を習得する。高校数学全体の有機的な繋がりを理解し、各問に対する最善の解法を導ける、揺るがない数学力を習得する。										
授業内容 ・進め方	3. 複素数平面 4. 式と曲線 上記の内容に関して、講義と演習を行う。演習時間を十分に確保し、様々な観点から問題にアプローチする。										
観点別評価の方法	【知識・技能】 定期テスト 基本的課題										
	【思考・判断・表現】 定期テスト										
	【主体的に学びに向かう態度】 定期テスト 発展的な課題 授業・テストに振り返り 小テスト										
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 5 : 3 : 2 を原則とする										
授業スケジュール											
(1学期)	4月	/	第3章 複素数平面 (3.ド・モアブルの定理)								
			第4章 式と曲線 第1節 2次曲線								
	5月	/	第4章 式と曲線 第1節 2次曲線								
			第2節 媒介変数表示と極座標								
6月	/	第2節 媒介変数表示と極座標									
7月	/	総合演習									
(2学期)	9月	/	総合演習								
	10月	/	総合演習								
11月	/	総合演習									
12月	/	総合演習									
(3学期)	1月	/									
	2月	/									
3月	/										

科目名	物理	単位数	5単位	学年	3年	コース		特進理系		選択		
教科書	物理（実教出版）											
副教材・参考書	アクセスノート(実教出版)											
授業の到達目標	物理的な事物、現象についての関心や探究心を高め、科学的に探究する能力を育てるとともに、基本的な概念や原理、法則を理解させ、科学的な自然観を育成する。											
授業内容 ・進め方	1、物理の基本的原理を実際の物理現象と関連づけさせ、生徒の自然への興味、関心を高める。 2、物理実験を通して、結果からの考察を追究させ、生徒の物理学的探究心を深める。 3、身近な物理現象について意見交換をさせ、テーマについて考えさせることで科学的思考力を高める。											
観点別評価の方法	【知識・技能】定期考査により評価する。											
	【思考・判断・表現】定期考査、レポート、探究課題等により評価する。											
	【主体的に学びに向かう態度】授業や考査の振り返り、提出物等により評価する。											
観点別評価の割合	知識・技能：思考・判断・表現：主体的に学びに向かう態度＝4：4：2を原則とする											
授業スケジュール												
(1学期)	4月	/	第1章 平面内の運動									
			第2章 剛体									
			第3章 運動量の保存									
	5月	考査実施	第4章 円運動と万有引力									
			第2編 熱と気体									
	6月	/	第1章 気体のエネルギーと状態変化									
			第3編 波									
	7月	考査実施	第1章 波の伝わり方									
第2章 音の伝わり方												
(2学期)	9月	/	第3章 光									
			第4編 電気と磁気									
	10月	考査実施	第1章 電場									
			第2章 電流									
			第3章 電流と磁場									
	11月	/	第4章 電磁誘導と電磁波									
			第5編 原子 第1章 電子と光									
	12月	考査実施	第2章 原子と原子核									
(3学期)	1月	/										
	2月	/										
	3月											

科目名	生物	単位数	5単位	学年	3年	コース		特進理系		選択	
教科書	生物（数研出版）										
副教材・参考書	サイエンスビュー 生物総合資料(生物基礎で使用したもの)、リードα										
授業の到達目標	生物や生命現象に対する探究心を高め、目的意識を持って観察、実験等を行い、生物学の基本的な概念や、原理・法則の理解を主体的・協働的に深め、科学的な自然観を養う。										
授業内容・進め方	ワークと資料集を使い、教科書を補いながら学習する。また、必要に応じてグループワークや発表、実験・観察を行う。										
観点別評価の方法	【知識・技能】定期考査をもとに評価する。										
	【思考・判断・表現】定期考査・レポート等をもとに評価する。										
	【主体的に学びに向かう態度】授業・定期考査の振り返りをもとに評価する。										
観点別評価の割合	知識・技能：思考・判断・表現：主体的に学びに向かう態度＝4：4：2を原則とする										
授業スケジュール											
(1学期)	4月	/	授業の説明 第1章 生物の進化								
	5月	考査実施	2章 細胞と分子								
6月	/	3章 代謝									
7月	考査実施	4章 遺伝情報と発現と発生									
(2学期)	9月	/									
			5章 動物の反応と行動								
	10月	考査実施									
			6章 植物の環境応答								
11月	/										
		7章 生物群集と生態系									
12月	考査実施										
(3学期)	1月	/									
	2月	/									
3月											

科目名	化学研究	単位数	3単位	学年	3年	コース		特進理系		必修	
教科書	化学(実教出版)										
副教材・参考書	つかむ化学 2025 大学入学共通テスト対策 浜島書店、アクセスノート 化学 新課程版(継続使用)、 フォトサイエンス 化学図録(継続使用)、										
授業の到達目標	化学基礎・化学の内容における総合的な演習を行い、深い思考力・判断力を身につける。また、学んだ知識を活用して実験操作・情報整理を行い、事象を主体的理解し、それを表現する力を身につける。										
授業内容 ・ 進め方	2年次より継続して化学に関する演習・解説を行う。適宜、問題集を用いた共通テストの対策演習を行うことで実践的な解法を身に付けていく。また必要に応じて演習実験や生徒主導による授業・実験・グループワーク等を取り入れ、生徒の主体的な理解、表現力の向上を図る。										
観点別評価の方法	【知識・技能】定期考査により評価する。										
	【思考・判断・表現】定期考査、提出課題、探究課題等により評価する。										
	【主体的に学びに向かう態度】授業や考査の振り返り、レポート課題等により評価する。										
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 4 : 4 : 2 を原則とする										
授業スケジュール											
(1学期)	4月	/	ガイダンス 授業と評価・化学概論								
			4章 有機化学 2節 不飽和炭化水素			3節 アルコールとエーテル					
	5月	考査実施	アルデヒドとケトン								
			カルボン酸とエステル								
	6月	/	1節 有機化合物の構造式の決定								
			4節 芳香族化合物								
	7月	考査実施									
	(2学期)	9月	/	3章 無機物質 1節 周期表 ~ 3節 金属元素			(グループワーク・プレゼンテーション)				
無機物質 問題演習											
10月		考査実施									
11月		/	5章 高分子化合物 1節 高分子化合物 ~ 3節 合成高分子化合物			(グループワーク・プレゼンテーション)					
			高分子化合物 問題演習								
12月		考査実施									
(3学期)	1月	/									
	2月	/									
	3月	考査不実施									

科目名	体育(男子)	単位数	3単位	学年	3年	コース	特別進学	必修
教科書	新高等保健体育(大修館書店)							
副教材・参考書								
授業の到達目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する。							
授業内容・進め方	生涯を通じて運動を生活の中に取り入れ、公正、協力、責任をもって実践できるように展開する。各単元の特性を生かし、知識・技能を高めるとともに作戦に応じたプレーを心がけることで思考力・判断力の向上、安全に留意しながら実施する態度の育成をはかる。自己の能力に応じて体力の向上に努める。							
観点別評価の方法	【知識・技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解できているか。							
	【思考・判断・表現】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力が養われているか。							
	【主体的に学びに向かう態度】 生涯にわたり継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度が養われているか。							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 4 : 3 : 3 を原則とする							
授業スケジュール								
			《体育》男女別習 2単位			《選択体育》男女共習 1単位		
(1学期)	4月	/	体づくり運動			選択①	オリエンテーション	
			新体力テスト				着装・礼法・所作、面・小手・胴	
	5月	考査不実施	バスケットボール パス、シュート 他ルール説明、ゲーム				剣道基本技稽古法(基本1～基本9)	
							面・小手・胴	
6月	/	ソフトボール キャッチボール、バッティング、ゲーム			連続技・体当たり技			
					連続の打ちこみ			
7月	考査不実施	バレーボール パス、サーブ、レシーブ、スパイク、ゲーム			互角稽古			
					試合			
(2学期)	9月	/	ソフトテニス スイング、ボールコントロール ゲーム			選択②	オリエンテーション	
							基本姿勢・動作	
	10月	考査不実施	サッカー ボールコントロール、攻防練習、ゲーム				現代的なリズムのダンス	
							テーマに合わせた動き	
11月	/	バドミントン ラリー、サーブ、ゲーム			リズムダンスの創作			
					グループ分け、リズム、テーマ決め			
12月	考査不実施	サッカー ゲーム			フレーズづくりと構成			
					グループ発表			
(3学期)	1月	/				選択③	オリエンテーション	
							技の名称や行い方 運動観察の方法	
	2月	/					切り返し系	
							回転系	
3月	/				条件を変えた技			
					発展技			
						発表会		
			※2クラス程度で合併して授業を展開する。 ※1年間で2種目選択し、1学期ごとに種目を変更する。					

科目名	体育(女子)	単位数	3単位	学年	3年	コース		特別進学		必修	
教科書	新高等保健体育(大修館書店)										
副教材・参考書											
授業の到達目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する。										
授業内容・進め方	生涯を通じて運動を生活の中に取り入れ、公正、協力、責任をもって実践できるように展開する。各単元の特性を生かし、知識・技能を高めるとともに作戦に応じたプレーを心がけることで思考力・判断力の向上、安全に留意しながら実施する態度の育成をはかる。自己の能力に応じて体力の向上に努める。										
観点別評価の方法	【知識・技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解できているか。										
	【思考・判断・表現】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力が養われているか。										
	【主体的に学びに向かう態度】 生涯にわたり継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度が養われているか。										
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 4 : 3 : 3 を原則とする										
授業スケジュール											
				《体育》男女別習 2単位				《選択体育》男女共習 1単位			
(1学期)	4月	/	体づくり運動				選択①	オリエンテーション			
			新体力テスト					着装・礼法・所作、面・小手・胴			
	5月	考査不実施	バスケットボール パス、シュート 他ルール説明、ゲーム					剣道基本技稽古法(基本1～基本9)			
			ソフトボール キャッチボール、バッティング、ゲーム					面・小手・胴 連続技・体当たり技 連続の打ちこみ 互角稽古 試合			
6月	/	バレーボール パス、サーブ、レシーブ、スパイク、ゲーム				選択②	オリエンテーション 基本姿勢・動作 現代的なリズムのダンス テーマに合わせた動き				
7月	考査不実施	ソフトテニス スイング、ボールコントロール ゲーム					リズムダンスの創作 グループ分け、リズム、テーマ決め フレーズづくりと構成 グループ発表				
(2学期)	9月	/	サッカー ボールコントロール、攻防練習、ゲーム				ダンス	オリエンテーション 技の名称や行い方 運動観察の方法 切り返し系 回転系			
	10月	考査不実施	バドミントン ラリー、サーブ、ゲーム					選択③	条件を変えた技 発展技 発表会		
	11月	/	サッカー ゲーム				器械運動				
(3学期)	12月	考査不実施									
	1月	/									
	2月	/									
	3月	/									
※2クラス程度で合併して授業を展開する。 ※1年間で2種目選択し、1学期ごとに種目を変更する。											

科目名	英語コミュニケーションⅢ	単位数	5単位	学年	3年	コース		特別進学		必修		
教科書	MY WAY English Communication Ⅲ											
副教材・参考書	ターゲットTarget 1900(6訂版)、SKY WARD SKY Course 2nd Edition(特選)、SKY WARD Ocean Course 3rd edition(特進)、パワーマックス8共通テスト対応模試英語リーディング・英語リスニング(特選)、共通テ											
授業の到達目標	4技能をベースとした活動を通し、知識の統合、情報整理、表現力の向上を図る。また、大学入学共通テスト、個別大学入試問題演習を積み、学んだ知識を体系化させるとともに、トピックス内容を通じて世の中と人類の歩み、これからについて考えていく。											
授業内容 ・ 進め方	聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの4技能を統合的に結び付けた活動を行う。聞き取ったことや読み取ったことの内容や話の展開を理解、要約する。また、様々なトピックスについて情報を整理し、話す、書く等の表現力を養う活動を行う。											
観点別評価の方法	【知識・技能】 思考、表現に繋げるための知識や技術の定着を定期試験及び各テストで評価する。											
	【思考・判断・表現】 自分の考えを適切に英語で伝える力をつめ、定期試験及びパフォーマンステスト等で評価する。											
	【主体的に学びに向かう態度】 各単元の振り返りや家庭学習の取り組みを参考に主体的に学ぶ態度を評価する。											
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 4:4:2を原則とする											
授業スケジュール												
(1学期)	4月	/	Target 1900復習テスト(2学年時に学習した単語の確認テスト)									
			Strategy fo Listening & Reading①～⑧									
			Lesson 1 "Priceless" Café, "Priceless" Community									
	5月	/	Lesson 2 -Nihonium- A New Element Born in Japan									
			Lesson 3 Tea in the Desert Cimate									
			共通テスト演習・一般入試演習									
	6月	/	Lesson 4 The Benefits of Origami									
			Lesson 5 The Mysteries of English Spelling									
			共通テスト演習・一般入試演習									
	7月	/	共通テスト演習・一般入試演習									
			/	Lesson 6 Discovery in the Nasca Lines								
(2学期)	9月	/	パフォーマンステスト(ディベート)									
			Lesson 7 Today's Trash is Tomorrow's Treasure									
			共通テスト演習・一般入試演習									
	10月	/	Lesson 8 Nap Time at School									
			Lesson 9 Dog Tax									
			共通テスト演習・一般入試演習									
	11月	/	Lesson 10 Space Development									
			共通テスト演習・一般入試演習									
	12月	/	共通テスト演習・一般入試演習									
(3学期)	1月	/										
	2月	/										
3月	/											

科目名	論理・表現Ⅲ	単位数	2単位	学年	3年	コース	特別進学	必修
教科書	Vision Quest English Logic and Expression Ⅲ 啓林館							
副教材・参考書	Vision Quest English Logic and Expression Ⅲ サブノート 啓林館							
授業の到達目標	スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、複数の段落から成る文章を書くことなどを通して、聞き手や読み手を説得できるよう、論理の構成や展開を工夫して話したり書いたりして詳しく伝える又は伝え合うことなどができるようになる。							
授業内容 ・ 進め方	各レッスン、トピックに関する記述モデル文を確認し、文法機能表現の練習を行う。続いて「聞く」「話す(やりとり)」「話す(発表)」「書く」などの総合的な活動へと展開する。またレッスンごとに「書く」又は「話す」力を評価するパフォーマンステストを行う。							
観点別評価の方法	【知識・技能】 音声・語彙・表現・文法 定期考査							
	【思考・判断・表現】 話す(やり取り)・話す(発表)・書く 定期考査・パフォーマンステスト							
	【主体的に学びに向かう態度】 自律性・主体性・自己評価(振り返り)による学習調整の観察・評価							
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 4:4:2 を原則とする							
授業スケジュール								
(1学期)	4月	/	Lesson 1,2【学習・言語】Level 1. Writing 複数パラグラフ 相談メールへの回答					
			Lesson 3【心理】Level 1. Speaking 「自分はどんな人物か」をスピーチ					
	5月	考査不実施	Lesson 4【心理】Level 1. Speaking 「自分はどんな人物か」をスピーチ					
			Lesson 5,6【健康】Level 1. Speaking 「自分の健康法」をプレゼンテーション					
	6月	/	Lesson 7,8【異文化】Level 1. Speaking「複数部活動への参加の是非」をディベート					
			Lesson 9【情報化社会】Level 1. Speaking「ネット上のトラブル」をディスカッション					
	7月	考査実施	Lesson 10【情報化社会】Level 1. Speaking「ネット上のトラブル」をディスカッション					
	(2学期)	9月	/	Lesson 11,12【社会構成】Level 2. Writing 3パラグラフ Eメールで意見交換				
Lesson 13【経済】Level 2. Speaking 「電子決済のメリットデメリット」をスピーチ								
10月		考査不実施	Lesson 14【経済】Level 2. Speaking 「電子決済のメリットデメリット」をスピーチ					
			Lesson 15, 16【環境問題】Level 2. Speaking 環境問題についてプレゼンテーション					
11月		/	Lesson 17,18【技術】Level 2. Speaking「AIは人間に置き換わるか」をディベート					
			Lesson 19【SDGs】Level 2. Speaking「SDGsのため何ができるか」をディスカッション					
12月		考査実施	Lesson 20【SDGs】Level 2. Speaking「SDGsのため何ができるか」をディスカッション					
(3学期)		1月	/					
	2月	/						
	3月							

科目名	理数探究		単位数	2単位	学年	3年	コース	特進・進学理系	必修
教科書	理数探究基礎(2年次に使用したもの)								
副教材・参考書	課題研究メソッド								
授業の到達目標	理数探究基礎で学んだ知識技能を活用し、個人で探究テーマを設定、検証を繰り返し、発表活動をすることで、教科横断的な課題設定力・課題解決力を身につける。								
授業内容・進め方	個人で探究テーマを決め、探究計画書をもとに探究活動を行う。クラスの枠を越え、物理学系統、化学系統、生物・家政学系統、情報・数学系統などの系統ごとに活動場所を分ける。1学期末に中間発表を行い、2学期に最終発表、卒業論文の作成を行う								
観点別評価の方法	【知識・技能】実験、レポートによって評価する。								
	【思考・判断・表現】実験、レポート、発表によって評価する。								
	【主体的に学びに向かう態度】実験、レポート、発表によって評価する。								
観点別評価の割合	知識・技能 : 思考・判断・表現 : 主体的に学びに向かう態度 = 4 : 4 : 2 を原則とする								
授業スケジュール									
(1学期)	4月	○	17	理数探究テーマの設定・系統ごとの活動場所(8名担当教員)に振り分け					
		○	24	系統ごとに探究活動					
	5月	○	1	系統ごとに探究活動					
		○	8	系統ごとに探究活動 授業参観で保護者に探究内容をプレゼン					
		○	15	系統ごとに探究活動 理数探究のすすめ方(論文検索と活用)					
			22	中間考査週					
	6月	○	29	系統ごとに探究活動					
		○	5	系統ごとに探究活動					
			12	2系統合同中間発表					
		△	19短	2系統合同中間発表					
	○	26	2系統合同中間発表・中間報告書・ルーブリックの提出						
		7月		4	期末考査週				
	△		11短	探究パターンカードで振り返り 夏休みの活動計画 (希望者は高校生理科研究発表会に応募)					
	(2学期)	9月	△	4短	系統ごとに探究活動				
			11	実力テスト					
○			18	系統ごとに探究活動					
○			25	系統ごとに探究活動(高校生理科研究発表会参加希望者の発表練習)					
10月		○	2	系統ごとに探究活動					
		○	9	系統ごとに探究活動					
			16	中間考査週					
		○	23	系統ごとに探究活動					
11月		○	30	系統ごとに探究活動					
		○	6	系統ごとに探究活動					
			13	系統ごとに探究活動					
		○	20	2系統合同最終発表					
○		27	2系統合同最終発表・放課後に代表者を集め、文系の卒業探究と合同発表会						
		12月	○	4	探究パターンカードで振り返り・卒業論文・ルーブリックの提出				
備考									